津軽地方のカバイロシジミの分布調査[1]

阿部 東・斎藤 和夫[2]

Notes on the distribution of *Glaucopsyche lycormas* Butler in Tsugaru-district By Azuma Abe and Kazuo Saitoh

カバイロシジミ (*Glaucopsyche lycormas*) が津軽半島の先端にあたる竜飛近辺に定着していることは昭和27(1952)年に確認され (斎藤・山内1952, 外崎1952) 近年下北半島でもその棲息が知られた(室谷1963).

カバイロシジミは青森県下の海岸帯にかなり広く分布していると我々は予想してきたが, たまたまこの推定を裏ずける1頭の資料が昭和38 (1963) 年8月に阿部のもとにもたらされたので, その確認こそ望ましいという見地から昭和39(1964)年8月に分布の調査をしてみた. この間天候に恵まれたとはいい切れないが, 若干の新知見をえたので取りまとめておこうと思う.

重要な資料を提供された山内隆逸君に感謝する.

第1図 カバイロシジミの津軽地方の産地を示す. 右側は青森県の全図
1：袰月, 2：竜飛, 3：小泊, 4：北金ケ沢, 5：大戸瀬, 6：風合瀬, 7：深浦.

1 昭和38年8月にもたらされた資料

この資料は現在, 阿部が保管しているが, 山内隆逸 (当時, 五所川原農林高校3年生) が昭和38年7月28日に深浦 (西津軽郡深浦町, 第1図) で採集して阿部にもたらした1♂で, 新鮮な個体である.

2 昭和39年8月に新たに採集した場所と分布を再確認した場所 (第1図)

新採集地：

風合瀬 (西津軽郡深浦町) 8月9日に1♂1♀ (第2図, 上左右) をえた.

北金ケ沢 (深浦町) 8月10日に1♂ (第2図下左) を採集, 2頭を目げき.

大戸瀬 (深浦町) 8月10日に1♀ (第2図, 下右) を採集,

以上の3ケ所ではすべて阿部が採集した.

分布再確認地：

袰月 (東津軽郡今別町) 昭和36年7月18日にここですでに3頭えられている (室谷・阿部1962). 8月5日に阿部が燈台付近で1♂1♀をえた. カバイロシジミはこの近辺でも定住していると考えられる.

小泊 (北津軽郡小泊村) 昭和35年8月2日に

第2図 採集されたカバイロシジミ. 何れも表面. 実物大.
上段：風合瀬産♂(左)と♀(右).
下段：北金ケ沢産♂(左)と大戸瀬産♀(右).

1) 青森県の昆虫に関する調査 (弘前大学動物形態学研究室) 5

2) 県立五所川原農林高等学校および弘前大学理学部生物学教室

阿部が1♀をえているが（阿部 1960, 室谷・阿部 1962），8月11日にわれわれは11♂♂22♀♀を採集し，かつかなりの個体を目げきした．また，幼虫7頭と卵6ケもえた．定着繁殖は確実と考えられる．

まとめ

昭和38年8月にもたらされた資料（深浦産1♂，山内隆逸採集）に基いて昭和39年8月にカバイロシジミ（*Glaucopsyche lycormas*）の津軽地方での分布状態を調査した．嬖月と小泊で分布を再確認し，風合瀬，北金ケ沢，大戸瀬（いずれも西津軽郡深浦町）の3ケ所で新たに採集した（第1および第2図参照）．

文献

阿部 東 1960 Larva, (14)：3．

室谷洋司・阿部 東 1962 青森県の蝶類．

室谷洋司 1963 青森生物誌 5(1/2)：6—9．

斎藤和夫・山内博尙 1952 生態昆虫，4(11)：63—68．

外崎 誠 1952 Blakiston, 1(2)：8—9．

兵庫県下で採集されたムラサキツバメ

山 本 広 一[1)]

Some records of *Narathura bazalus turbata* Butler from Hyogo-Pref.

By Hirokazu Yamamoto

兵庫県下のムラサキツバメについては，1953年甚田竜太郎氏が MDK News, (26), p.17 に，〃聞くところに依れば兵庫農大〔篠山町〕の松浦役児氏が………得ているらしい〃と報告し，山本義丸：兵庫県氷上郡昆虫目録(1958, p.9～10)に，甚田氏の名とともに，採集地として篠山があげられている．それ以来この蝶は長らく消息を絶っていたが，最近筆者は次の2例を知り得たので報告しようと思う．

1. 1959年10月4日，竹内崇郎氏が明石市大久保町江井ケ島の自宅で，完全に近い1♀を採集し，標本は目下筆者がお預りしている．同氏によると，当日はかなりに風が強く，蝶はこれを避けるかのように，庭のイチジクの葉蔭に潜んでいたという．

ムラサキツバメ ♀ 明石市江井ケ島産

2. これより前，筆者は旧明石市内にも採集されていることを知り，調査を進めていたところ，採集者の小林進君よりその写真を送付され，現在手もとに所有している．1959年8月，同市北王子町で採集したものである．個体は前後翅ともにかなり傷つき，尾状突起も欠損してはいるが，裏面の斑紋は明らかで，種の同定には差支えない．標本は小林君が所蔵している．

数年ぶりに，しかも同じ市内で相ついで2頭が見つかったことは愉快である．

なお，標本を貸与され，発表の自由を許された両氏に厚くお礼を申し上げたい．

1) 兵庫県小野市下来住町

小豆島でクロツバメシジミを採集

羽 根 田 良 三[2)]

Tongeia fischeri from Shōdo-shima, Kagawa Pref.

By Ryôzô Haneda

1965年8月16日～18日，小豆島に行った際，クロツバメシジミを採集しました．採集場所は香川県小豆郡池田町蒲野浜（かまのはま）の海岸に面した道路上の空地で♂♀合わせて7頭を得ました．発生地域は局地的で道路上100 m位の範囲でした．クロツバメシジミは岡山県からは知られており，小豆島に分布していても珍らしいことではないと思いますが，まだ記録がないらしいので，報告します．

最後に標本の同定をしていただいた若林守男先生にお礼申し上げます．

2) 大阪府枚岡市箱殿町4—9